

入札公告

琉球大学において、下記のとおり物品購入について一般競争に付します。

記

1. 競争入札に付する事項

- (1) 調達物品及び数量 医療用画像情報システム(購入) 別紙仕様書のとおり
- (2) 納入期限 令和2年8月31日
- (3) 納入場所 琉球大学病院
- (4) 入札方法について
落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。)をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず見積もった契約金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

2. 競争に参加する者に必要な資格

- (1) 国立大学法人琉球大会計実施規程第14条1項に該当しない者であること。
- (2) 国立大学法人琉球大会計実施規程第13条により令和2年度に全省庁統一資格九州・沖縄地域の「物品の販売」の「A,B,C又はD」等級に格付けされている者であること。
- (3) 物品調達に係る迅速なアフターサービス・メンテナンスの体制が整備されていることを証明したものであること。
- (4) 医薬品医療機器等法に基づいて医療機器の販売業の許可を得ていることを証明した者であること。

3. 入札書の受領期限及び場所

令和2年4月17日(金) 17時00分 琉球大学上原キャンパス事務部管理課調達第一係

4. 入札執行の日時及び場所

令和2年5月15日(金) 11時00分 琉球大学医学部管理棟小会議室

5. 入札に関する問い合わせ先及び資料請求先

沖縄県西原町字上原207番地
国立大学法人 琉球大学上原キャンパス事務部管理課調達第一係 (担当:小浜)
TEL 098-895-3331(内2122) FAX 098-895-1091

6. その他

- (1) 入札保証金及び契約保証金は免除する。
- (2) 入札の無効
本公告に示した競争参加資格のない者の提出した入札書、入札者に求められる義務を履行しなかった者の提出した入札書は無効とする。
- (3) 契約書作成の要否
契約締結にあたっては、契約書を作成するものとする。
- (4) その他
詳細は、入札説明書による。

令和2年 4月 3日

国立大学法人琉球大学
学長 西田 睦



医療用画像情報システム一式

仕様書

令和2年3月

国立大学法人琉球大学

I 仕様書概要

1 調達背景及び目的

機能画像診断センター (FIMACC)は、開院より6年半が経過し、今後保守切れなどにより種々の機器の更新が予定されている。その中の一つである「医療用画像情報システム」も保守契約が終了するため調達を行う。

2 調達物品及び構成内訳

医療用画像情報システム 一式
(構成内訳)

1. 読影支援システム 1式

以上の搬入、据付、配管、配線、調整等を含む。

3 技術的要件の概要

1. 本調達物品に係る性能・機能及び技術等(以下「性能等」という。)の要求要件(以下「技術的要件」という。)は別紙に示すとおりである。
2. 技術的要件はすべて必須の要求要件である。
3. 必須の要求要件は本学が必要とする最低限の要求要件を示しており、入札機器の性能等がこれを満たしていないとの判断がなされた場合には、不合格となり、落札決定の対象から除外する。
4. 入札機器の性能等が技術的要件を満たしているか否かの判定は、入札機器に係る技術仕様書を含む入札説明書で求める提出資料の内容を審査して行う。

4 その他

1. 仕様に関する留意事項

- 1) 提案する機器は、入札時点で製品化されていることを原則とする。ただし、入札時点で製品化されていない物品で応札する場合は、技術的要件を満たすことが可能な旨の説明書、開発計画書、納期に間に合うことの根拠を十分に説明できる資料及び確約書等を提出すること。
- 2) 入札後、モデルチェンジ等の事由が発生した場合には、本学と協議のうえ、最新の機種を納入すること。
- 3) 入札機器に備えるべき技術的要件で示す「できること」、「有すること」、「可能であること」等の仕様については、納入時点において全て実現していること。

2. 提案に関する留意事項

- 1) 提案する機器が技術的要件を満たしていることを、応札仕様書のどの部分で証明できるかを技術的要件毎に、具体的にかつわかりやすく、資料等を添付し参照すべき箇所を明示すること（技術的要件と入札機器に係る性能等を、対比表を作成して示すこと）。参照すべき箇所が、メーカーの仕様書、説明書、カタログ等である場合は、表中に参照資料番号を記入すると共に、資料中にアンダーラインを付したり、色付けしたり、余白に大きく矢印を付したりすることによって当該部分を明示すること。従って、審査するに当たって提案の根拠が不明確、説明が不十分で技術審査に重大な支障があると本学技術審査委員会が判断した場合は、要求要件を満たしていないものとみなす。
- 2) 提案された内容等について、問い合わせやヒアリングを行うことがある。
- 3) 提出資料等に関する照会先を明記すること。

II 調達物品に備えるべき要件

(性能・機能に関する要件)

1 基本要件

- 1-1 読影支援システムとして既存のsyngo.viaサーバー本体のハードウェアを更新し、継続して使用可能とすること。
- 1-2 更新後の読影支援システムのソフトウェアは最新にバージョンアップすること。
- 1-3 読影支援システムのクライアント端末は更新前と同じ個所での操作が可能なこと。
- 1-4 更新後のサーバ本体のメモリ容量は192GB以上を有していること。
- 1-5 読影支援システムのOSはMicrosoft社製Windows Server 2016, Standard 相当以上の性能、機能を有していること。
- 1-6 更新後のサーバーは、データ保存領域として約7,000GBの磁気ディスク装置を備えていること。
- 1-7 マトリクスサイズが512×512の画像において、最大同時読込スライス枚数は46,000枚以上であること。
- 1-8 既存サーバーに保存されているデータを新しいハードウェアに移行し、読影可能なこと。
- 1-9 読影支援システムは、距離、角度、ROI、VOI（体積計測）、SUV(Bq/ml, %)、矢印、ピクセルレンズ等の計測機能やマーカー機能を有すること。
- 1-10 読影支援システムは、2D、MPR、MPR thick、MPR/MPR fusion、MIP、任意厚のMIP thin、MinIP、VRTの画像表示ができること。
- 1-11 読影支援システムは、クリッププレーンスラブ、クリップボックス、パンチ（切り抜き）などの画像処理ができること。
- 1-12 読影支援システムは、リージョンローイング（領域選択、以下RG）、RG部位の体積測定など画像処理機能を有すること。
- 1-13 読影支援システムは、自動椎体ラベリング（CT,MR）、自動肋骨ラベリング（CT）処理ができること。
- 1-14 読影支援システムは、2D/3D リファレンスライン表示、3D リファレンスポイント表示、ムービー再生機能を有すること。
- 1-15 読影支援システムは、パラレルレンジ、ラジアルレンジでの出力が可能であること。
- 1-16 読影支援システムは、CT、MR、PETなどモダリティ毎に最適な画像処理アプリケーションが搭載可能で、予め事前前処理を実行できること。
- 1-17 画像処理アプリケーション自動実行時、予めデータの前処理、過去画像の取得、自動レイアウト機能が適用されること。
- 1-18 画像処理アプリケーションは、作業途中での中断、中断からの再開が可能であること。
- 1-19 複数の画像表示レイアウトを有し、レイアウト適応後も別のレイアウトに容易に切り替えが可能な機能を有すること。
- 1-20 レイアウトのカスタマイズはユーザ毎に設定可能であり、端末には依存しないこと。
- 1-21 PET画像、CT画像を取り扱うことができ、CT、PETのデータに対し、自動位置合わせを行い、重ね合わせ画像が表示できること。

- 1-22 PET画像の読影用のMI Oncologyライセンスは既存の読影支援システムで有している同時に3Userでの操作が行えるライセンスを継承して使用可能とすること。
- 1-23 PET、CT、重ね合わせ画像に対し、任意の横断面、矢状面、冠状断面を同時に表示できる機能を有すること。また、MIP画像上でのクリックと座標連動して、指定部位のCT、PET、重ね合わせ画像が表示できること。
- 1-24 PET、CT、重ね合わせ画像に対し、予め設定した過去画像の比較レイアウトを手動起動または他システムからの連携起動が可能で、レイアウト内すべての画像を同期させることのできる機能を有していること。
- 1-25 PET、CT、重ね合わせ画像に対し、予め設定した過去画像を表示させる比較レイアウトを有すること。また、画像表示中に関連検査をリスト表示し、必要時にはさらに過去画像を追加選択でき、ドラッグ & ドロップでレイアウトに追加表示できること。
- 1-26 PET画像について、2D,MIP,CTとのFusion画像上でワンクリック等による自動輪郭抽出（セグメンテーション）機能を有し、特定のSUV値での体積を測定する機能を有すること。またその閾値（SUV値）は随時可変で、数値指定や百分率で指定が可能であること。
- 1-27 PET画像のセグメンテーション機能は、一度の計測で、SUV（max,min,average,peak）、体積を自動計算し、切り替えなしですべての数値を一覧表示できること。
- 1-28 PET画像のセグメンテーション機能は、SUVを用いるPERCISTに準拠した治療効果判定に対応していること。
- 1-29 PET画像のセグメンテーション機能は、PERCIST評価で用いる標準参照VOI（肝臓、下行大動脈）を自動で描画する機能を有すること。
- 1-30 全身あるいは選択領域における、腫瘍、多発性転移等が疑われる複数の高集積部位について、1回の計測で総量計測（MTV and TLG）が可能なこと。
- 1-31 ホジキンリンパ腫の治療効果判定に用いるDeauville five-point scoreを計測可能なこと。

(性能・機能以外に関する要件)

- 1 設置条件等
 - 1-1 設置場所
 - 1-1-1 本学病院が指定した場所に設置すること。
 - 1-2 設備要件
 - 1-2-1 本学病院が用意した一次側設備以外に必要な電源設備、給排水設備、空調設備があれば供給者において用意すること。
 - 1-2-2 本学病院が指定したシステムへの接続費用の全てを本調達に含めること。接続にあたり追加費用の請求は、一切認めないものとする。
 - 1-3 搬入、据付、配線、調整及び撤去
 - 1-3-1 機器の搬入、据付、配線、配管、調整については、診療業務に支障をきたさないよう、本学病院の職員と協議のうえ、その指示によること。
 - 1-3-2 搬入に際しては、壁、床、エレベータ等傷つけぬよう注意し、搬入すること。損傷が発生した場合には、供給者の責任において補修・修理もしくは原状回復をすること。
 - 1-3-3 既存機器については、本学病院職員の指示により供給者の責任で撤去すること。
 - 1-3-4 納入場所が本学病院機能画像診断センターであるという特殊性を考慮に入れて、搬入、据付、調整、既存品撤去等の際には、清潔に注意すると共に、作業終了後は、作業を行った箇所等の消毒を行うこと。
- 2 保守体制等
 - 2-1 保守体制
 - 2-1-1 通常の使用で発生した故障の修理及び定期的保守点検を実施できる体制であること。
 - 2-1-2 本学病院に2時間以内に到着できる範囲内で、技術サービス員を複数名有する支店もしくは代理店があること。
 - 2-2 保証期間
 - 2-2-1 納入検査確認後1年間は、通常の使用により故障した場合の無償修理に応じること。
- 3 障害支援体制等
 - 3-1 障害時において、復旧のため通報を受けてからリモート対応または、2時間以内に現場で対応できる体制であること。
 - 3-2 24時間365日対応可能なコールセンタを設置していること。
- 4 その他
 - 4-1 教育体制等
 - 4-1-1 機器の取り扱いに関する教育訓練は、本学病院職員と協議のうえ、指定する日時、場所で行うこと。
 - 4-2 説明書・マニュアル等
 - 4-2-1 操作マニュアルは、すべての機器について日本語版を3部提供すること。

4-3 その他

- 4-3-1 納入する機器等に係る情報等を、本学が指定するテンプレートに入力のうえ提出すること。また、可能な限り、機器に関する資料（パンフレット等）についてもデータで提出すること。